

2019年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年10月29日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4185 URL <http://www.jsr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小柴 満信
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 桑島 信彦 TEL 03(6218)3517
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年11月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	245,695	20.7	22,413	△4.1	23,495	△5.4	17,267	△10.0	16,717	△7.0	17,376	△39.0
2018年3月期第2四半期	203,538	11.7	23,365	56.3	24,829	70.7	19,183	61.5	17,970	53.6	28,475	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	75.29	75.09
2018年3月期第2四半期	80.75	80.52

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	699,791	436,915	399,456	57.1	1,812.94
2018年3月期	647,699	411,615	393,499	60.8	1,767.81

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2019年3月期	—	30.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	490,000	16.1	48,000	10.2	49,000	6.0	36,000	2.9	33,500	0.8	150.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）Crown Bioscience International、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	226,126,145株	2018年3月期	226,126,145株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	5,789,889株	2018年3月期	3,534,779株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	222,020,261株	2018年3月期2Q	222,528,841株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2018年10月29日（月）に、決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から同年9月30日）の概況

当社グループの主要な需要業界におきましては、自動車タイヤの需要は4月以降順調に推移しておりましたが、中国などで7月以降やや下落傾向に転じております。一方で半導体市場および液晶ディスプレイ市場は堅調さを維持しております。このような状況のもと当社グループにおきましては、エラストマー事業では、技術的に優位性を持つ製品のグローバルな拡販に注力いたしました。合成樹脂事業では、2018年4月1日より新会社テクノUMG株式会社（テクノポリマー株式会社とユーエムジー・エービーエス株式会社の統合会社）の運営をスタートいたしました。デジタルソリューション事業では、半導体材料事業においては最先端技術に対応した素材の拡販を、ディスプレイ材料事業では高成長が期待される中国市場での拡販を進めました。第3の事業の柱と位置付けるライフサイエンス事業では、2018年5月末にCrown Bioscience Internationalの買収を完了し、創薬プロセスを支援する体制を整えました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益は2,456億95百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益224億13百万円（同4.1%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益167億17百万円（同7.0%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（単位：百万円）

区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上収益						
エラストマー事業	93,798	46.1%	99,375	40.5%	5,577	5.9%
合成樹脂事業	25,966	12.7%	52,600	21.4%	26,634	102.6%
デジタルソリューション事業	69,874	34.3%	71,585	29.1%	1,711	2.4%
ライフサイエンス事業	11,176	5.5%	19,269	7.8%	8,093	72.4%
その他事業	2,566	1.3%	2,866	1.2%	300	11.7%
調整額	159	0.1%	1	0.0%	△158	△99.4%
合計	203,538	100.0%	245,695	100.0%	42,157	20.7%
国内売上収益	88,280	43.4%	109,446	44.5%	21,166	24.0%
海外売上収益	115,258	56.6%	136,249	55.5%	20,991	18.2%
区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上収益比	金額	売上収益比	金額	比率
営業利益	23,365	11.5%	22,413	9.1%	△952	△4.1%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	17,970	8.8%	16,717	6.8%	△1,253	△7.0%

① エラストマー事業部門

エラストマー事業につきましては、売上収益は前年同期を上回りました。営業利益は、原料価格上昇によるスプレッドの縮小により、前年同期を大きく下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のエラストマー事業の売上収益は前年同期比5.9%増の993億75百万円、営業利益は前年同期比45.0%減の47億15百万円となりました。

② 合成樹脂事業部門

合成樹脂事業につきましては、4月にテクノポリマー株式会社とユーエムジー・エービーエス株式会社の統合会社であるテクノUMG株式会社が設立されたことにより、売上収益及び営業利益ともに、前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂事業の売上収益は前年同期比102.6%増の526億円、営業利益は前年同期比24.4%増の39億47百万円となりました。

③ デジタルソリューション事業部門

デジタルソリューション事業につきましては、好調な半導体市場を背景として半導体材料の販売数量が増加したことにより、売上収益は前年同期を上回りました。

営業利益は、半導体材料の売上収益の増加に伴う利益の増加により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のデジタルソリューション事業の売上収益は前年同期比2.4%増の715億85百万円、営業利益は前年同期比3.4%増の166億15百万円となりました。

④ ライフサイエンス事業部門

ライフサイエンス事業につきましては、KBI Biopharma, Inc.の販売拡大やCrown Bioscience Internationalの連結子会社化等により、売上収益及び営業利益ともに前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のライフサイエンス事業の売上収益は前年同期比72.4%増の192億69百万円、営業利益は前年同期の営業損失20億50百万円から営業利益4億18百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年4月25日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	124,956	78,233
営業債権及びその他の債権	122,476	140,984
棚卸資産	87,567	109,688
その他の金融資産	13,776	8,379
その他の流動資産	9,134	7,686
流動資産合計	357,908	344,970
非流動資産		
有形固定資産	159,834	182,761
のれん	19,389	61,086
その他の無形資産	10,403	12,561
持分法で会計処理されている投資	24,777	24,342
退職給付に係る資産	1,003	1,074
その他の金融資産	64,970	62,013
その他の非流動資産	1,862	2,116
繰延税金資産	7,552	8,867
非流動資産合計	289,791	354,821
資産合計	647,699	699,791

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	110,303	127,188
借入金	25,947	35,534
未払法人所得税	4,520	6,114
その他の金融負債	641	1,337
その他の流動負債	12,607	14,182
流動負債合計	154,019	184,356
非流動負債		
借入金	53,456	49,915
退職給付に係る負債	14,500	15,447
その他の金融負債	1,674	1,906
その他の非流動負債	2,480	2,433
繰延税金負債	9,955	8,819
非流動負債合計	82,064	78,520
負債合計	236,084	262,876
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	23,370	23,370
資本剰余金	18,502	18,523
利益剰余金	331,913	343,466
自己株式	△5,358	△10,209
その他の資本の構成要素	25,071	24,305
親会社の所有者に帰属する持分合計	393,499	399,456
非支配持分	18,116	37,460
資本合計	411,615	436,915
負債及び資本合計	647,699	699,791

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上収益	203,538	245,695
売上原価	△139,940	△173,541
売上総利益	63,598	72,154
販売費及び一般管理費	△41,659	△50,139
その他の営業収益	1,600	679
その他の営業費用	△646	△817
持分法による投資損益	472	537
営業利益	23,365	22,413
金融収益	1,894	1,679
金融費用	△429	△598
税引前四半期利益	24,829	23,495
法人所得税	△5,646	△6,228
四半期利益	19,183	17,267
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,970	16,717
非支配持分	1,214	551
合計	19,183	17,267
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	80.75	75.29
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	80.52	75.09

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益	19,183	17,267
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	7,018	△1,881
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△4	3
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	△15	31
在外営業活動体の換算差額	2,102	3,216
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	191	△1,262
税引後その他の包括利益合計	9,292	108
四半期包括利益合計	28,475	17,376
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	26,516	16,381
非支配持分	1,959	995
合計	28,475	17,376

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2017年4月1日残高	23,320	18,441	309,517	△5,396	16,006	361,889	14,475	376,364
四半期利益			17,970			17,970	1,214	19,183
その他の包括利益					8,547	8,547	745	9,292
四半期包括利益合計	-	-	17,970	-	8,547	26,516	1,959	28,475
株式報酬取引	50	70			△85	35		35
配当金			△5,563			△5,563	△43	△5,605
自己株式の変動		0		2		2		2
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			33		△33	-		-
非支配持分の変動		28				28	114	142
その他の増減額						-	1	1
所有者との取引額等 合計	50	98	△5,530	2	△118	△5,498	72	△5,426
2017年9月30日残高	23,370	18,540	321,957	△5,394	24,435	382,907	16,506	399,413

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2018年4月1日残高	23,370	18,502	331,913	△5,358	25,071	393,499	18,116	411,615
四半期利益			16,717			16,717	551	17,267
その他の包括利益					△336	△336	444	108
四半期包括利益合計	-	-	16,717	-	△336	16,381	995	17,376
株式報酬取引		△51		88	△64	△27		△27
配当金			△5,565			△5,565	△46	△5,610
自己株式の変動		7		△4,939		△4,932		△4,932
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			430		△430	-		-
企業結合による変動		65	7		63	135	17,679	17,814
その他の増減額			△36		1	△35	715	680
所有者との取引額等 合計	-	21	△5,164	△4,851	△430	△10,424	18,349	7,925
2018年9月30日残高	23,370	18,523	343,466	△10,209	24,305	399,456	37,460	436,915

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第15号 顧客との契約から生じる収益	収益認識に関する会計処理の改訂

当社グループは、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」(2014年5月公表)及び「IFRS第15号の明確化」(2016年4月公表)(合わせて以下「IFRS第15号」という。)を第1四半期連結会計期間から適用しております。IFRS第15号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

IFRS第15号の適用に伴い、IFRS第9号「金融商品」に基づく利息及び配当収益等を除き、以下の5ステップを適用することにより収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する。

ステップ5：履行義務の充足時に(又は充足するにつれて)収益を認識する。

従前の会計基準を適用した場合と比較して、要約四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、また、中核グループ企業を中心となって国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部及び中核グループ企業を基礎とした製品別のセグメントから構成されております。

当社グループは、自動車タイヤ用途の汎用合成ゴム、自動車部品用途の機能性特殊合成ゴム、樹脂改質用途の熱可塑性エラストマー、塗工紙用途の合成ゴムラテックス等を製造販売しております「エラストマー事業」、自動車及びOA機器・アミューズメント用途等のABS樹脂等を製造販売しております「合成樹脂事業」、半導体材料、ディスプレイ材料、エッジコンピューティング関連等を製造販売しております「デジタルソリューション事業」、及び「ライフサイエンス事業」の4つを報告セグメントとしております。なお、「デジタルソリューション事業」は、製品及びサービスの性質、生産過程の性質及び市場等の経済的特徴の類似性に基づき、複数セグメントを集約した上で報告セグメントとしております。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
エラストマー事業	スチレン・ブタジエンゴム、ブタジエンゴム、エチレン・プロピレンゴム等の合成ゴム及び精練加工品、熱可塑性エラストマー及び加工品、紙加工用ラテックス、一般産業用ラテックス、アクリルエマルジョン、原料ラテックスの精製加工品、高機能コーティング材料、高機能分散剤、工業用粒子、潜熱蓄熱材料、遮熱塗料用材料、電池用材料、ブタジエンモノマー等の化成品、等
合成樹脂事業	ABS樹脂、AES樹脂、AS樹脂、ASA樹脂等の合成樹脂
デジタルソリューション事業	<p><半導体材料事業>リソグラフィ材料（フォトレジスト、多層材料）、CMP材料、実装材料、等</p> <p><ディスプレイ材料事業>カラー液晶ディスプレイ材料、反射防止膜材料、機能性コーティング材料、等</p> <p><エッジコンピューティング事業>耐熱透明樹脂及び機能性フィルム、高機能紫外線硬化樹脂、光造形・光成形、等</p>
ライフサイエンス事業	診断・研究試薬及び同材料、バイオプロセス材料、バイオプロセス開発・製造委託、等

なお、当社グループの報告セグメントは、従来「エラストマー事業」、「合成樹脂事業」、「多角化事業」としておりましたが、「多角化事業」に含めていたライフサイエンス事業の拡大に伴い、第1四半期連結会計期間より「ライフサイエンス事業」を報告セグメントの一つとし、また、「多角化事業」に含めていた「ファイン事業」を「デジタルソリューション事業」と改称して報告セグメントの一つといたします。なお、従来の「石油化学系事業」、「多角化事業」は廃止しております。これらに伴い、第1四半期連結会計期間より当社グループの報告セグメントは、「エラストマー事業」、「デジタルソリューション事業」、「ライフサイエンス事業」、及びテクノUMG株式会社が主体の「合成樹脂事業」となります。なお、このセグメント変更起因した各事業内容の見直しに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間において用いた事業区分により組み替えて表示しております。

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。

(2) 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメントに関するセグメントの情報は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額
	エラスト マー	合成樹脂	デジタル ソリューション	ライフサ イエンス				
外部顧客からの売上 収益	93,798	25,966	69,874	11,176	2,566	203,379	159	203,538
営業利益又は営業損 失(△)	8,575	3,172	16,070	△2,050	△1,056	24,711	△1,347	23,365
金融収益								1,894
金融費用								△429
税引前四半期利益								24,829

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リチウムイオンキャパシタ事業等を含んでおります。

2. 営業利益又は営業損失の調整額△1,347百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額
	エラスト マー	合成樹脂	デジタル ソリューション	ライフサ イエンス				
外部顧客からの売上 収益	99,375	52,600	71,585	19,269	2,866	245,695	1	245,695
営業利益又は営業損 失(△)	4,715	3,947	16,615	418	△936	24,760	△2,347	22,413
金融収益								1,679
金融費用								△598
税引前四半期利益								23,495

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リチウムイオンキャパシタ事業等を含んでおります。

2. 営業利益又は営業損失の調整額△2,347百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

(企業結合等関係)

1. 子会社を吸収分割承継会社とする吸収分割

(1) 企業結合の概要

当社は、宇部興産株式会社、三菱ケミカル株式会社がそれぞれ50%ずつ出資するユーエムジー・エービーエス株式会社を吸収分割会社とし、当社の完全子会社であるテクノポリマー株式会社（2018年4月1日にテクノUMG株式会社に改名）を吸収分割承継会社とする吸収分割を2018年4月1日付で実施いたしました。

吸収分割に際し、テクノUMG株式会社は新株を発行し、当社が保有するテクノUMG株式会社の持分割合は51%となっています。

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	ユーエムジー・エービーエス株式会社
事業の内容	ABS樹脂の製造及び販売

② 企業結合日

2018年4月1日

③ 取得企業が被取得企業の支配を獲得した方法

ユーエムジー・エービーエス株式会社を吸収分割会社とし、テクノポリマー株式会社を吸収分割承継会社とする同社普通株式58,800株の交付による吸収分割

(2) 企業結合の主な理由

今後もさらに厳しさを増す国内外のABS樹脂事業を取り巻く環境下において、国内への安定供給と海外での拡販のため、オペレーションを最適化し、製造効率とコスト競争力を確保することを主な目的としております。

(3) 企業結合日における資産・負債の公正価値及びのれん

① 支払対価の公正価値

テクノUMG株式会社普通株式	19,269百万円
----------------	-----------

② 株式の算定方法

第三者算定機関から提出を受けた株式価値評価レポート等を参考に、当事者間で協議の上、算定しております。

③ 取得資産、引受負債及びのれん

取得日(2018年4月1日)

	金額
	百万円
流動資産	
現金及び現金同等物	2,617
営業債権及びその他の債権	10,508
棚卸資産	6,945
その他	736
非流動資産	
有形固定資産	11,356
その他の無形資産	357
繰延税金資産	992
その他	1,775
取得資産	35,287
流動負債	
営業債務及びその他の債務	13,865
借入金	3,450
未払法人所得税等	719
その他	910
非流動負債	
借入金	80
退職給付に係る負債	629
その他	45
引受負債	19,698
取得資産及び引受負債の認識額(純額)	15,589
のれん	3,680

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果と超過収益力であります。また、のれんは、税務上損金算入不能なものです。

なお、企業結合日における連結上ののれんの金額は、テクノUMG株式会社に対する持分変動の影響があり、1,877百万円となっております。

取得資産及び負債の公正価値は、取得日時点で認識された暫定的な金額であり、測定期間中(取得日から1年間に)に修正が行われる可能性があります。

(4) 取得関連コスト

当企業結合に係る取得関連コストは前連結会計年度以前の金額も含めて136百万円であり、当四半期連結累計期間に発生した金額を要約四半期連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」にて費用処理しております。

(5) 当社グループの業績に与える影響

当第2四半期連結累計期間における影響額の合理的な算定が困難であるため、記載しておりません。

(6) 非支配持分への影響

テクノUMG株式会社に対する持分が100%から51%に変化したことにより、非支配持分は17,625百万円増加しました。

2. Crown Bioscience International取得による子会社化

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 Crown Bioscience International

事業の内容 創薬支援サービス

② 取得日

2018年5月31日

③ 取得した議決権比率

100%

④ 支配獲得方法

現金を対価とする株式の取得

⑤ 企業結合の主な理由

当社グループのライフサイエンス事業に創薬探索開発受託事業を取り込み、製薬業界に創薬プロセスへの製品・サービス提供からGMP製造までシームレスに価値を提供していくことを主な目的としております。

(2) 取得日における支払対価の公正価値、取得した資産、引き受けた負債の認識額

	金額
	百万円
取得対価	40,583
流動資産	
現金及び現金同等物	4,398
営業債権及びその他の債権	2,164
その他	429
非流動資産	
有形固定資産	2,412
その他の無形資産	933
繰延税金資産	132
その他	87
取得資産	10,555
流動負債	
営業債務及びその他の債務	1,282
その他	3,941
非流動負債	
借入金	2,581
繰延税金負債	128
引受負債	7,932
非支配持分	157
のれん	38,117

当第2四半期連結会計期間末において、発生したのれんの金額、企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額等については、企業結合日における識別可能資産及び負債の特定を精査中であり、取得価額の配分が完了していないため、暫定的な会計処理を行っております。

当企業結合に係る取得関連コストは前連結会計年度以前の金額も含めて335百万円であり、当四半期連結累計期間に発生した金額を要約四半期連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」にて費用処理しております。

のれんの内容は、主に期待される将来の収益力に関連して発生したものであります。当該のれんは税法上、損金には計上できません。

(3) 当社グループの業績に与える影響

当社グループの要約四半期連結損益計算書には取得日以降にCrown Bioscience International から生じた売上収益及び四半期利益が、それぞれ2,935百万円及び373百万円含まれております。また企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当第2四半期連結累計期間における当社グループに与える影響は軽微であります。